

医療センター だより

No. **2**
2008. 3. 1



理 念

一日も早い社会復帰を願って、
質の高い信頼される医療の
提供に努めます。

基 本 方 針

- 地域内で質の高い医療リハビリテーションを提供します。
- 患者さまの人格・人権を尊重し、患者さまの立場に立った医療サービスを提供します。
- 情報提供と十分な説明を行い、患者さまの信頼と満足に努めます。
- 知識と技術の向上を常に心がけ、医療の質の向上に努めます。
- 業務の効率化に努め、健全で活力のある病院経営を行います。

ごあいさつ



副医療センター長
薄井 昭博

当センターは一般病院と異なる特色、特殊性を持った病院ですが、私自身は泌尿器科医ですので泌尿器科に関連して、ごあいさつ申し上げます。脳疾患や脊髄疾患においては、神経障害の一環として神経因性膀胱と呼ばれる排尿障害がしばしば合併します。このため泌尿器科では、神経因性膀胱を含めた身体障害に関連する泌尿器科疾患と一般泌尿器科疾患が半々といった状況で診療にあたっています。神経因性膀胱においては、まずその治療の特殊性に合致した専門的治療の知識、技術の習得の必要性があります。

このことは当センター基本方針のなかでは「知識と技術の向上を常に心がけ、医療の質の向上に努めます」と表現されています。さらに重要なことは基本方針中に「患者さまの人格・人権を尊重し、患者さまの立場に立った医療サービスを提供します」と示されていますが、特に障害をもつ患者さまに対する理解および対応と考えています。これらのことは泌尿器科のみならず当センター全体としても重要ですので、今後も常に心がけ診療にあたりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



診療部長
澤野 邦彦

障害者リハビリテーションセンターは複数の施設の複合体で構成されており、その中の医療施設としては、この「医療センター」の他に、肢体不自由児施設「若草園」と重症心身障害児施設「若草療育園」があります。「医療センター」は整形外科や高次脳機能障害等の入院部門の他、すべての施設の外来部門を受け持っております。この3つの医療施設のいわば玄関口であり、当リハビリテーションセンターの「顔」としての大切な役割を帯びております。

すべての施設をご利用になる方々は、この「医療センター」外来を経由されることになります。

入院（園）を決める外来診察や、退院（園）後のフォロー・アップなどです。職員のほうも、各施設の病棟現場の配属者を除き、診療部の職員の多くは、全医療施設の仕事を兼務して働いております。職員は皆、全施設の「顔」としての自覚を持たねばなりません。

昨今医療の質が問われ、利用者と医療提供者の信頼関係や、医療の専門性・質の高さは言うに及ばず利用者の満足度がたいへん重要な要素となっております。「ここへ来てよかった。」と皆様に評価していただけるよう、職員一同努力を重ねてまいります。



事務局長
川崎 義彦

医療センターだよりの発刊によせて、一言ご挨拶をさせていただきます。創刊号において、黒瀬所長は『皆さまに選んでいただける病院』になるために病院の方向性を明確にしていくことを、水関センター長は『良性の循環』を最良のものにするため、スタッフの知識と技術の向上、及び患者さまが快適に過ごせる病院づくりの必要性について話されました。

私たち事務職員としては、上記の実現に向けて、まず「病院経営基盤の確立」に取り組まなければなりません。昨今のめまぐるしく変動する医療・福祉情勢のなか、適確な情報収集と迅速な対応が必要となります。また経営状況の分析により病院の現状と今後の方向性を明確にし、全職員に周知し、意思統一を図っていかねばなりません。次に「療養環境の整備」即ち、患者さまの立場に立った環境づくりです。

窓口対応等、接遇面は勿論のこと、病室や医療機器等の整備を行うことで患者さまのニーズに対応し、良質の医療サービスを提供していく必要があります。このことについては医師・看護師等の医療スタッフとの連携が必要不可欠なのは言うまでもありません。最後は「職場環境の整備」です。職員にとって働き甲斐のある病院、高いモチベーションを持って仕事ができる職場づくりが必要です。近年、全国的な看護師不足等、医療スタッフの確保に苦慮しておりますが、目に見える具体的な取り組みによって職場環境を改善していくことで乗り越えていかなくてははいけないと考えております。

これからも患者さまを第一に、『皆さまに選んでいただける病院』を目指し、尽力していきたいと思っておりますので、皆さまのご指導・ご協力をお願いします。

各科(課)紹介 医療センター1病棟



看護部理念

利用者中心に、質の高い心あたたまる看護の提供をめざします

医療センター1病棟は主に整形外科と泌尿器科の急性期を主体とする回復期に至るまでの病棟です。病床数は60床で、整形外科医9名、泌尿器科医1名、看護師23名、看護助手3名で対応しています。整形外科の主な疾患は変形性股関節症、変形性膝関節症、リウマチといった関節疾患や変形性脊椎症、脊椎狭窄症などの脊椎疾患、半月板損傷などのスポーツ障害等です。泌尿器科では前立腺肥大症、膀胱結石、二分脊椎などの疾患による排尿障害等の疾患が対象です。いずれの科も手術を目的として入院される患者様が殆どで、病気に関する不安は勿論ですが、手術や入院生活に関する不安をお持ちの方が多く入院されます。私達は、そういった不安を少しでも軽減できるようにクリニカル

パスという治療計画書(入院当日から退院までの日々の検査や治療内容、リハビリの流れが一目で分かるようなスケジュール表)を使用し、分かりやすい説明を心がけ、患者様・ご家族が安心して手術、ケア、訓練を受け、満足した入院生活を送っていただけるよう努めています。また、医師、訓練士、ソーシャルワーカーと連絡を密にしたチーム医療で患者さま個々にあった治療を心がけています。

医療センター1病棟では、看護部の理念の元、「患者さま一人ひとりを大切にした看護を提供し、自立した生活ができるように援助します。」を理念に掲げ、プライマリナーシングを併用し、心温まる看護を提供できるように、スタッフ一同、日々頑張っていきたいと思っています。

11/5~11/25の間、 韓国からSUH先生が 当センターで研修されました。

韓国の多くの先生たちの紹介で広島県障害者リハビリテーションセンターを訪問して、広島の手の外科学の伝統に接して、日本手の外科学会で有名な水関先生と他の先生たちの診療と手術を見たのは私には非常に役に立ちました。韓国では普通アメリカ式医療システムをたくさん勉強しますが、日本での勉強はアメリカ式とは違ういろんな面を知るよい機会でした。そして、看護婦を含んだ多くの職員たちのまじめで親切な患者看護にも大きい感動を受けました。

個人的には、病院だけでなく日本で初めて生活したので、短期間の旅行とは違う楽しい経験をしました。韓国と違いきれいな空気の中で出退勤をして日

課以後には多様な種類の日本の食べ物を味わったり、紅葉で染まった山と景色も見物したり、病院の家族の皆様との温泉旅行も忘れることができない思い出でした。

今度の訪問で私は日本を更に分かったような気がします。今後お互いに交流を通じて、私がいる病院と広島県障害者リハビリテーションセンターの間に親密な関係が醸成されるように願っています。来年はお世話になった先生方が当病院を訪問するのを楽しみにしております。私も機会があったら、またリハビリテーションセンターを訪ねたいです。

黒瀬所長、水関センター長、多くの先生方、スタッフ、職員たちの暖かくて親切な助けにもう一度感謝し、近い内にまたお会いできることを願っています。皆さんの健康と幸運を祈ります。

Young Suk Suh.



クリスマス会

平成19年12月19日に作業療法室にてクリスマス会が行われました。風船バレー大会や演奏発表など行われ、いつも以上の盛り上がりで皆さん楽しませていました。

看護師募集

お気軽にお電話ください。

TEL 082-425-1455 (代)

担当：事務局 総務課まで

私たちと一緒に働きませんか？



交通案内

J R西条駅から当センターへの無料送迎バスを運行しております

J Rバス：J R西条駅から「黒瀬町市飯田・呉市」行き乗車。県立西条農業高等学校前停留所で下車。停留所から約1 kmです。

自動車等：山陽自動車道西条 IC から国道375号線を呉方面に車で約20分です。

●無料送迎バス時刻表

西条駅 ▶ 広島県立障害者リハビリテーションセンター

区分	西条駅前	栄町	市役所前	自動車学校前	卯之留(うのとめ)	国際プラザ	西農前	リハセンター
1便	9:12	9:14	9:16	9:21	9:23	→	9:27	9:30
2便	10:00	10:02	10:04	10:09	10:11	10:16	10:22	10:25
3便	10:50	10:52	10:54	10:59	11:01	11:06	11:12	11:15
4便	11:42	11:44	11:46	11:51	11:53	→	11:57	12:00
5便	13:35	13:37	13:39	13:44	13:46	13:51	13:57	14:00
6便	15:50	15:52	15:54	15:59	16:03	→	16:05	16:08
7便	16:42	16:44	16:46	16:51	16:55	→	16:58	17:00

広島県立障害者リハビリテーションセンター ▶ 西条駅

区分	リハセンター	西農前	国際プラザ	卯之留(うのとめ)	自動車学校前	市役所前	栄町	西条駅前
1便	8:40	8:43	→	8:47	8:49	8:54	8:56	8:58
2便	9:35	9:38	9:44	9:49	9:51	9:54	9:56	9:58
3便	10:28	10:31	→	10:35	10:37	10:42	10:44	10:46
4便	11:20	11:23	→	11:27	11:29	11:32	11:36	11:38
5便	13:00	13:03	13:09	13:14	13:16	13:19	13:23	13:25
6便	15:20	15:23	→	15:27	15:29	15:32	15:36	15:38
7便	16:10	16:13	16:24	16:24	16:26	16:29	16:33	16:35

○：国際プラザ経由便 ▲：土、日、祝祭日運休便



●お問い合わせ先● 広島県立障害者リハビリテーションセンター 医療センター

〒739-0036 東広島市西条町田口295-3番地

電話 (082)425-1455(代表) FAX (082)425-1094 URL <http://www.rehab-hiroshima.gr.jp>